

栃木県 宇都宮市

栃木県宇都宮市


 拡
め
る

市内の小中学校62校に、約1,300台のエコ・アイスを設置



宇都宮市立富士見小学校

宇都宮市は栃木県の中心部に位置し、餃子のまちとしても知られる同県の県庁所在地である。2007年3月31日の上河内町および河内町との合併を経て、北関東初の50万都市となり首都圏の北の拠点としてさらなる発展を目指している。

宇都宮市教育委員会では、第5次総合計画に掲げる「学ぶ意欲と豊かなこころを育む」教育を推進するために、各分野別の計画を策定・展開している。その中でも特色あ

る施策のひとつとして、児童・生徒が集中して学習に取り組むことができるよう、08年度から09年度にかけて小中学校の普通教室などへ冷暖房設備を導入した。

宇都宮市では、地球温暖化防止および地域環境への影響、ライフサイクルコストの削減などの課題を総合的に検討した結果、リース方式によるエコ・アイスminiを小中学校あわせて62校に導入することを決め、2年間で1,198台のエコ・アイスminiと34

台のエコ・アイスの設置工事を完了させた。

また、「宮っこ、食べっこ、元気っこ(宇都宮市学校教育食育推進行動計画)」に掲げる「学校給食における食環境の整備」の一環として、各小中学校の給食室に電気式炊飯釜の導入を計画するなど児童・生徒の教育の質向上に取り組んでいる。



宇都宮市立小中学校(計62校)

・竣工: 中学校2008年、小学校2009年

■蓄熱設備概要

エコ・アイスmini 5馬力相当×1,022台、6馬力相当×64台〔以上、三菱電機、イーゼ〕、9馬力相当×112台〔イーゼ〕、エコ・アイス(ビル用マルチ) 10馬力相当×34台〔三菱電機〕 合計1,232台